

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	検体採取処理技術		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期 火曜日	教室名	801802 6階実習室
担 当 教 員	重松康之 杉山梨奈 永井康平	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
血液、尿などの生体試料は、採取後も生体と同様に、代謝がある程度持続したり、生体から分離する為、放置中の検査試料は変質しやすいものです。検体採取後、前処理をおこなえば、どれだけ検査データに影響を及ぼすのか、実習を取り入れ、その変化を確認し、理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
期末テスト(筆記試験) レポート点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料 臨床検査技師講座 医療安全管理学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
配布プリントをよく予習・復習し、授業ノートをまとめて勉強してください						
《履修に当たっての留意点》						
特に臨床化学・一般臨床検査総論において、検体採取と前処理の重要性を、この授業で理解を深め、習得することを期待しています。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	検体採取にあたっての注意点、検体汚染の回避が検査成績に及ぼす影響を説明できるようになる	配布資料	授業ノートを見直してください	
		各コマにおける授業予定	検体採取にあたっての注意点、一般的な汚染が検査成績に及ぼす影響、検体採取後の変化、前処理に関する問題点、検体前処理に関する実習手順の解説			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	検体採取にあたっての注意点、検体汚染の回避が検査成績に及ぼす影響を説明できるようになる	配布資料	授業ノートを見直してください	
		各コマにおける授業予定	検体採取にあたっての注意点、一般的な汚染が検査成績に及ぼす影響、検体採取後の変化、前処理に関する問題点、検体前処理に関する実習手順の解説			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	検体前処理にあたっての注意点を順守しなければ、正確な検査データが得られないことを、実習をとおして確認理解できるようになる	配布資料	授業ノートを見直してください	
		各コマにおける授業予定	事前に、1年生の採血した検体で、前処理に関する実習を・グルコース・ムタローゼGOD酵素法にて、検体前処理の不備が検査成績にどのように及ぼすのか、実習を通じて確認する。			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	検体前処理にあたっての注意点を順守しなければ、正確な検査データが得られないことを、実習をとおして確認理解できるようになる	配布資料	授業ノートを見直してください	
		各コマにおける授業予定	事前に、1年生の採血した検体で、前処理に関する実習を・グルコース・ムタローゼGOD酵素法にて、検体前処理の不備が検査成績にどのように及ぼすのか、実習を通じて確認する。			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	講義と実習により前処理の重要性を再確認すること	配布資料	授業ノートを見直してください	
		各コマにおける授業予定	前処理の重要性に関する国試問題の解説と、実習レポートを返却し解説。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	講義と実習により前処理の重要性を再確認すること	配布資料	授業ノートを見直してください
	各コマにおける授業予定	前処理の重要性に関する国試問題の解説と、実習レポートを返却し解説をする。			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	採血の方法・滅菌方法を説明できるようになる。	配布資料	授業ノートを見直してください
		各コマにおける授業予定	採血方法		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	採血の方法・滅菌方法を説明できるようになる。	配布資料	授業ノートを見直してください
		各コマにおける授業予定	滅菌方法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	採血実習を通して正しい手技を説明できるようになる。	配布資料	授業ノートを見直してください
		各コマにおける授業予定	採血実習(模擬腕)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	採血実習を通して正しい手技を説明できるようになる。	配布資料	授業ノートを見直してください
		各コマにおける授業予定	採血実習		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	採血実習を通して正しい手技を説明できるようになる。	配布資料	授業ノートを見直してください
		各コマにおける授業予定	採血実習		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	さまざまな採血管を使用して採血が出来るようになる。	配布資料	授業ノートを見直してください
		各コマにおける授業予定	採血管の選択		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	さまざまな採血管を使用して採血が出来るようになる。	配布資料	授業ノートを見直してください
		各コマにおける授業予定	滅菌・殺菌・消毒方法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	細菌培養に関わる検体採取とその処理方法を説明できるようになる。	配布資料	授業ノートを見直してください
		各コマにおける授業予定	細菌検査に関わる無菌操作		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	細菌培養に関わる検体採取とその処理方法を説明できるようになる。	配布資料	授業ノートを見直してください
		各コマにおける授業予定	細菌検査に関わる滅菌方法について		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	検体採取処理技術		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 火曜日	教室名	801802 6階実習室
担 当 教 員	重松康之 杉山梨奈 永井康平	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
血液、尿などの生体試料は、採取後も生体と同様に、代謝がある程度持続したり、生体から分離する為、放置中の検査試料は変質しやすいものです。検体採取後、前処理をおこなえば、どれだけ検査データに影響を及ぼすのか、実習を取り入れ、その変化を確認し、理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
期末テスト(筆記試験) レポート点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料 臨床検査技師講座 医療安全管理学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
配布プリントをよく予習・復習し、授業ノートをまとめて勉強してください						
《履修に当たっての留意点》						
特に臨床化学・一般臨床検査総論において、検体採取と前処理の重要性を、この授業で理解を深め、習得することを期待しています。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	細菌検査の検体採取法が出来るようになる。(口腔内)		配布資料	授業ノートを見直してください	
	各コマにおける授業予定	口腔内の検体採取				
第17回	授業を通じての到達目標	細菌検査の検体採取法が出来るようになる。(口腔内)		配布資料	授業ノートを見直してください	
	各コマにおける授業予定	培地に培養				
第18回	授業を通じての到達目標	細菌検査の培養、鏡検、同定、廃棄を説明できるようになる。		配布資料	授業ノートを見直してください	
	各コマにおける授業予定	細菌検査の培養、鏡検				
第19回	授業を通じての到達目標	細菌検査の培養、鏡検、同定、廃棄を説明できるようになる。		配布資料	授業ノートを見直してください	
	各コマにおける授業予定	細菌検査の同定				
第20回	授業を通じての到達目標	細菌検査の培養、鏡検、同定、廃棄を説明できるようになる。		配布資料	授業ノートを見直してください	
	各コマにおける授業予定	細菌検査の廃棄				